

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 (17 : 30~18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	4 人	人	人	6 人

前回の改善計画
日々のコミュニケーションの中で小さなことでも日誌等に記載し多職種会議にて話し合い、ご利用者様のニーズに沿ったケアを行なっていきます。日々の介護に不安や不満等ないか確認していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々の申し送りは口頭だけではなく、連絡帳の活用して情報共有ができた。会議で活用されケアにつながっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	4			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	4			6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	4			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用時にある情報をベースに慎重に人間関係をつくりながら、利用者さん・周辺にある新たな情報を得られている。初回利用時や慣れていない様子があるとき声かけを多くしています。手帳・電話・携帯メール等でご家族と連絡を図り関係が構築できるようにしています。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用開始前にミーティングの時間が取れないときがあった。現場とご家族との関係構築の機会がなく、お顔を知らずに情報の共有をしていることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	日々のコミュニケーションの中で小さなことでも日誌等に記載し、多職種会議にて話し合いご利用者さんのニーズに沿ったケアを行っていきます。手帳・電話・携帯メール等でご家族と連絡を図り関係が構築できるようにしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 18 日 (17:20~18:20)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画	個別ケアや本人の目標など会議等で情報の共有を行ない、日誌や連絡帳を活用して、単にご利用者様の要望 (デマンド) を聞くのではなく、表現・表出されたデマンドを通じてその奥にある欲求を知り、さらにその奥に真のニーズを発見出来るように努めていくことで本人の目標やニーズが叶うよう支援をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議等により情報共有が行われている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	1		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6			6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6			6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 会議などで情報が共有できており、本人や家族の希望にて対応して支援が来ている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者さんの生活歴等がきちっと把握等できていないことが多々ある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 個別ケアや本人の目標など会議等で情報の共有を行ない、日誌や連絡帳を活用し本人の目標や希望が叶うよう支援していく
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 21 日 (17:20~18:20)

3. 日常生活の支援

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画	自宅での生活がどのようにしているか、訪問時や送迎時などに細かな部分にも視点を向け日々の生活についての把握を図り、職員間にて情報の共有に努め、ご家族・関係機関等と連携を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎時や訪問などで得た情報は速やかに報告して、職員間で共有できていました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	3		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	4			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6			6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	4			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		6			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
訪問時、送迎時にどのような生活を送っているか把握に努めました。本人の変調への気づき対応ができ、状態に合わせた支援ができてきている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自宅内での利用者さんの残存能力・生活環境・暮らし方の把握が出来ていないところがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々の関わりと訪問や送迎時など細かな部分にも視点を向け、自宅内での利用者さんの残存能力や生活環境・暮らし方の把握に努め、情報の共有に努める。ご家族や関係機関との情報交換を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 15 日 (17:30~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画
地域行事に積極的に参加していくと共に、地域の拠点として活動内容が地域の方々がわかるように展示会を始め、サークル活動などによる啓蒙活動をおこなっていく。地域包括支援センターなどの関係機関等とも連携がとれるよう事業所地域の「地域資源マップの作成」等をおこない職員全体での把握をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域行事に参加したり、勝田台ステーションギャラリー等において作品展開催やサンコーポ便り等で啓蒙活動を行うことはできました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	1		6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5			6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6			6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	2		6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域行事に積極的に参加出来ている、ギャラリーでの作品展への出展やサークル活動やサンコーポ便りで啓蒙活動は行えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源マップの作成は出来なかった。個々の利用者さんへの必要な民生委員や地域の資源等の把握が利用者さんの状態等によってバラつきができてしまった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域サークルの参加機会の確保・引き続きギャラリーでの作品展の開催やサンコーポ便りへ掲載してもらうなどの啓蒙活動をおこない、地域行事にも積極的に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 15 日 (18 : 00～18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	人	人	6 人

前回の改善計画	職員ひとりひとりが連絡・報告・相談の大切さを再確認していき、出勤時前に連絡ノートの記載確認、日誌の確認を確実に毎日行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	連絡ノート 日誌の確認をして毎日、申し送りができています。記録のソフトが変更となり気になることは業務日誌に反映されるようになったので良くなったと思います。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6			6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	4			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	4			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
朝の申し送りや会議で個別の状態や支援等について情報の共有が出来ている。本人の体調をみながら柔軟に対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務の忙しさの中で連絡ノートの確認や記載を怠ってしまう時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
記録ソフトを活用出来るようになり、個別の状況など把握に努め、日誌の確認を確実に毎日行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (18 : 00～18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	人	人	人

前回の改善計画
各関係機関との会議や地域のイベントについても計画作成担当者だけでなく介護側の職員も積極的に参加機会の確保を行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果
会議への参加は一部の職員のみに残まっているが、地域のイベント等は情報を得て参加しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		5	1		6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		6			6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	5			6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	1		6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域、自治会等の活動などのイベントに参加することができる。	地域開放プログラム「翠耀学園 大人の学校メゾット」では利用者以外の方々 (地域住民等) も来てくれるようになった。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の子供たちとの交流機会が少ない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ベルマークやエコキャップを集めて、小学校や中学校へ持参していき協力していく活動をおこない、地域のこどもたちとも交流していく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (17 : 30～18 : 00)

7. 運営

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	5人	人	6人

前回の改善計画
小規模多機能型居宅介護事業について再度、施設内研修を実施して理解を深めるとともに、地域包括ケアシステムを担う中核的なサービス拠点の一つとして、地域に対する役割を登録されたご利用者様だけでなく、地域住民の方々に対する支援も積極的に行うことができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域住民の方々への支援は十分には行えているところには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		4	2		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6			6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6			6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		6			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所のあり方については、事業計画を皆で意見を出し合ったものを取り入れ、計画に基づいて実施することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域と協働した取組みが少ない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
小規模多機能型居宅介護について理解を深めてもらうとともに、地域と協働した取組みを理解し、相互に協力できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 21 日 (18 : 00～19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画	社会福祉協議会の支会活動に参加して、地域の活動により一層取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	支会活動に管理者自ら参加するとともに、八千代高校でのバザー品の提供や中央公園でのフェスタのテント設営など他の職員も出来る範囲で参加させていただきました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		5	1		6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	1		6
③	地域連絡会に参加していますか		5	1		6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場外研修の機会を作ってもらっています。職場内研修にはできる限り参加しています。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 外部研修・支会連絡会など一部の職員は行くことができていないが全員ではない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域との関わりをもち、様々な情報の交換が出来るように参加する。
---------------	--



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 21 日 (18 : 00～19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 日高・吉村・花島・小柳・辻内・久下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	人	人	6人

前回の改善計画
個々のプライバシーに配慮しながら、多職種間での情報共有を図る。ご利用様が安心して活動等が行えるように通いスペースを構造化して、視覚的な手段を使い、理解を助ける支援を行います。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者のプライバシーを気を配りながら支援をおこなっている。 通いペースにあった固定電話を移動するなど環境整備等も行いました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6				6
②	虐待は行われていない	6				6
③	プライバシーが守られている		6			6
④	必要な方に成年後見制度を活用している		5	1		6
⑤	適正な個人情報の管理ができている		6			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束・虐待も虐待と疑われるような行為も行っていない。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 必要な方に成年後見制度について話をしていますが活用されている方はいません。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 個々のプライバシーに配慮しながら、多職種間での情報共有を図る
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠耀会	代表者	理事長 津川 恵美子	法人・ 事業所 の特徴	本体事業所(小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台)とサテライト型事業所(小規模多機能型居宅介護サテライト グリーンヒル勝田台) 一体的なサービスを提供することで、ご利用される方々が安心して身近な地域でサービスを利用し、馴染みの地域や関係を断ち切らず、生活を送れるように支援していきたいと考えています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル勝田台	管理者	日高 和枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	掲示板(サンコーポ勝田台)への活動掲示し、積極的に行っていく。勝田台ステーションギャラリーでの展示会を継続実施し、地域に広く啓蒙活動をしていく。	勝田台ステーションギャラリー展示会を実施することが出来、会場に事業所のパンフレットを置くことで、福祉や介護について相談される方がいました。	スタッフ全員で自己評価に取り組んでいる姿勢が見られました。全職員で種々の状況に細かく対応し支援につなげており改善計画も明確に出されており、これで又向上していけると感じます。	地域の様々なイベントに積極的に参加していく。スタッフのチームワークを大切にしていって、計画に取り組み、自己評価を行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	イベントがある時は掲示板へ活動掲示し、地域の方々をお誘いしていく。利用しやすい環境作りに努めていく。	勝田台ステーションギャラリー展や事業所主催の餅つきなどサンコーポ勝田台と勝田台地域包括支援センターに掲示させていただき、餅つきではお問い合わせがありました。	ドアの改善など事業所内の工夫も出来ており、限られた空間の工夫もされています。このまま、利用者の視点に立った環境・しつらえを維持して欲しい。	ドアに季節感を取り入れた飾りつけを行ない、事業所内は清潔感を保ち、ご利用者・来客者に対して、居心地の良い環境作りを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事などに積極的に参加する。自治会や民生委員の方々にも地域社会であって欲しい取り組みと一緒に提案して活動していく。	地域社会であって欲しい取り組みと一緒に提案して活動していくことは事業所として課題が残りましたが、地域行事に参加することは出来ました。	事業所の認知度についてはもう一歩の所があると思います。地域住民や関係者は福祉について相談できる場所がたくさんあると安心できると思います。	自治会への参加や地域主催の行事にご利用者と一緒に参加していく。勝田台ステーションギャラリー展や地域サカ活動によって、地域の方々に活動を知って頂く機会を持つ。地域住民の方々に福祉について相談できる場であることの認知度を上げていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	緊急時の協力を事業所として行っていく。毎月「サンコーポ便り」に投稿し情報を発信していく。利用者の買い物支援などその方の暮らしを支えていく。	勝田台地域包括支援センターからの緊急保護の方の受け入れ先として連絡があり、一時的ですが事業所で過ごされることがありました。サンコーポ便りに活動報告を掲載することが出来ました。サンコーポ便りでは地域の方からサテライトの取組み(レコードコンサート)の反響の掲載がありました。	サービス導入になると事業所が利用者の生活支援をすべて行っている感を持ちやすくなるが、実はその利用者は地域の多くの方々に支えられている意識を持つことが大切かと思えます。そのためにもいろいろ関係機関と顔の見えるつながりを作る事が大切かと思えます。利用者以外でも地域住民からのSOSにも積極的に協力出来る体制が見えるとありがたい。	ご利用者の関係機関の把握に努め、関係機関との関わりを深めて顔の見える繋がりを作り、ご利用者の暮らしの支援を行っていく。自治会に参加し、緊急の協力関係を構築して体制を整えていく。現在、休刊となっている「サンコーポ便り」再発刊をできるように地域自治会及び管理組合共に制作活動一員として協力していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方の声を伺い、情報共有し問題等についても皆様と協力し、活動に繋げていく。	自治会や運営推進会議参加により、情報交換が出来ました。貴重なご意見を活動に繋げて、取組みが出来ました。	運営推進会議はまだ事業所の活動報告にとどまっている傾向を感じます。地域に目を向け、自分達が地域に何が出来るのか等会議で話し合うことができると良いかと思えます。	活動報告や小規模だよりで事業所の取り組みを伝えていく。自治会や運営推進会議から地域で抱えている問題や事業所として地域に何が出来るなど、事業所の会議で話し合い、できる限り事業として協力できるようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に積極的に参加し、事業所の防災訓練も行ない防災意識を高めていく。	事業所の防災訓練に管理組合の方が参加して頂いています。地域主催の防災訓練や防災講習会に参加し、防災意識を高めることが出来た。	いつ起こるかかわからない災害については福祉の事業所の役割はとても大きいと思えます。地域の福祉の拠点としての役割を担っていただく為にも地域関係者との関わりを日頃から持てるよう心がけていただけると良いかと思えます。	事業所の防災訓練(年3回)を行っていく。また地域主催の防災訓練や防災講習会に参加し、避難場所や災害の知識を増やし、防災意識を高めていく。災害時、避難誘導が必要な方の誘導を自治会と協力して行っていく。